

「一人ひとりが先端技術の分野に興味を持ってもらう、学べる機会を作る、起業や経営ができる基盤・土壌を作ることが若者チャレンジ事業の目標です。同時に、市には舞鶴版Society5.0 for SDGsとして、次代の先端技術のSDGsの達成を目指しています。市内では、市だけに限らず、SDGsの目標達成を目指す団体や活動が生まれており、地域に続々と「チャレンジャー」が生まれています。



の早さ・広がっていく強さをイメージしました。単に舞鶴を良くするための部活だけではなく、SDGsを基軸に取り入れた新しい地域成長モデルやイノベーション創発を本質的な動機とすることが、部活のコンセプトです。行政だけ、企業だけ、学校だけでは解決できない地域の課題に対し、多様な連携で、事業として成立するような解決方法を考えています。

ボランティアなど、人の善意だけに頼る方法は持続性や広がりを持たせるのは難しいので、課題が解決でき、収益も得られるモデルを作ることが持続可能性の鍵で、地域課題の解決を、地域の人が仕事として取り組める形にすることを目指しています。

現在、舞鶴のデジタルマイクロツーリズムの商品企画、地元「大浦夏みかん」の栽培や販売を持続可能にするべくおいしさの秘密を探る取り組み、高校生・大学生向けのSDGs探求旅行の誘致など、日星高校SDGs部を18歳以下の部として加入してもらいながら、多様なメンバーが力を合わせることで、持続可能な課題解決のカタチを作っています。



一緒に活動する機会は、一人ひとりの視野を広げる経験になっています。また、何かをするためには予算を獲得しなければならず、そのために企画を練るという社会人になっても通用する実践的な経験を積めたことは貴重な経験になりました。

今後も、地域課題に、いろんな主体を巻き込んで、お互いが高め合いながら解決へ導くという取り組みを続けていきます。

Maizuru Bamboo Monsters (MBM)

SDGsの担い手育成を目指す若手チーム



市の舞鶴版Society5.0 for SDGsの取り組みの1つで、人材育成を目指して結成した産官学民と多様な主体からなる33人のチーム、Maizuru Bamboo Monsters。名前の由来は、メンバー間の話し合いの中で、雄々しく猛々しい竹が舞鶴を囲んでいる、その一部が放置竹林として課題にもなっていることからです。加えて、竹の成長

日星高校 SDGs部

持続可能な社会を考える

引き揚げやウズベキスタンをテーマとした国際交流などに取り組む「インターアクト部」が、今年度からSDGs部に発展しました。3学年16人がボランティアなどを通じて地域を盛り上げる活動に取り組み、地域に活気をもたらし、舞鶴を持続可能なまちに、地方から日本を持続可能な国にすることを目指しています。

部員全員がMaizuru Bamboo Monstersの18歳以下の部にも加入していて、現在、協働で発達障害のある人への療育レッスンなどを行う音楽教室の施設改善に取り組んでいます。社会課題を解決する取り組みへの京都府の補助金を活用するため、申請用の企画書づくりなどに挑戦し、採択を受けました。親や教師以外の大人と接する機会の少ない高校生にとって、いろんな業種の大人と

工夫して作る楽しさを

今回、小学校5・6年生を対象に「押しボタン」を作る電気工作体験教室を開催しました。子ども達には、早押しボタンを作動させるための回路作成をしてもらいました。この回路は、実際に船や機械を動かすための「制御盤」を作る作業の一部を利用して、地元企業として、自社の業務を生かした教室を開催し、地域に貢献できたことは嬉しく思っています。

をしたらいいのかが分からないという場合があります。そんなとき「これやってみたら？」と機会を提供し、子ども達の好奇心を押し出すことで、見聞を広げてあげることが家族や地域の役割だと考えています。この教室で、電気工作やものづくりの面白さを体験することができたのではないかと感じています。

にスカート状の部品を付けることが必要だと分かり、工夫して完成させました。この時、先生や周囲の友達に「すごいね」と褒められたときの嬉しさは今でも覚えています。調べて分かること、工夫すること、褒められること。この楽しさを子どもたちになるべくたくさん体験してほしいと思います。

大人や地域の一押しで 地域の子どもの好奇心を伸ばす

舞鶴でもITやものづくり分野の先進的な事例に触れることができる機会づくり、そして、将来都会に出なくてもこのまちで新しい事業にチャレンジできる土壌をつくることを目指す「若者チャレンジ」事業。

9月に開催した小学生向け電気工作教室に協力いただいた日立造船(株)舞鶴工場の北野さんに話を伺いました。



北野 裕介さん

日立造船株式会社 舞鶴工場 工場長

